

20240621 蔵前ゼミ (通算 第 106 回)



講演中の野上さん〔創造性を意識して、誰もやっていないことにチャレンジ!〕



会場風景 (すずかけ台, J2-203 講義室)



司会 (浅川吉章, 蔵前工業会神奈川県支部 副支部長, 講師の他に 10 名 強の先輩も参加していますので、何でも気楽に聞いて下さい)



交流会での挨拶 (中島 肇, 支部長, 質問をして企業における 創薬の流れをより良く理解しましょう)



交流会の乾杯 (すずかけホール 3F, ラウンジ)



交流会でのスピーチ〔上村孝, 化学科 4 年の卒研の時に研究室がすずかけ台に引っ越しました。当時は、建物も少なく木も小さかったですね。核酸 (RNA) の化学合成が専門で、不安定な物質で苦労しました。まさか コロナウイルスワクチンでこんなに有名になるとは思いもしませんでした。帝人を経て、ベンチャー (Veritas In Silico) を立ち上げた経験から、軸をずらさず、目の前のことをきちんと考え、仲間と一緒にやっていくことがサバイバルに繋がると思います。



交流会でのスピーチ〔谷口一郎, 機械系でしたので窓の向こうに見えている R2 棟で修士まで研究していました。上村さんの話にあったとおり、昔は寂しいところで、マムシがたくさんいました。大きなプロジェクトを進めるときは、自分の思っていることをいかにメンバーに伝えるかが重要です。今日の野上さんの話でいえば、専門的な内容は分野違いの私には難しかったのですが、スライドには 3 度も『役に立つことをしたい』と出てきたので、意気込みがよく伝わってきました。